



カセットコンロ、カセットボンベの製造年月日を確認していますか？

災害のときなどに備えて、カセットコンロをお持ちの方は多いと思います。

このカセットコンロ、カセットボンベにも使用期限があり、カセットコンロは製造から約10年、カセットボンベは製造から約7年が目安となります。使用期限を過ぎたものを使用すると、思わぬ事故や火災につながります。

カセットコンロもボンベもガス漏れ防止のためにゴムが使われており、経年劣化でひび割れたり変形したりすると、ガス漏れにつながります。



カセットコンロ

ごみとして捨てる場合は、ボンベを抜いて、燃えないごみの日に、燃えないごみ袋に入れて出して下さい。

カセットボンベ

裏側に製造年月日を書いてあります。

ごみとして捨てる場合、月一回の有害物の日に透明・半透明のビニール袋に入れて出します。一戸建ての住宅に住んでいる方は自宅前（道路際の敷地内）に、集合住宅に住んでいる方は指定のごみ集積所に出して下さい。



カセットボンベを捨てるときは、なるべく使い切ってから出して下さい。使い切れなかった場合は、穴などあけずにそのまま出して下さい。

（詳しくは稲城市ごみ・リサイクルカレンダーP19）

また、災害の時に、どのくらいのガスボンベを用意しておくべきでしょうか？

大人2人で一週間分を備えるとして、

気温10度、大人2人の場合、約9本

気温25度、大人2人の場合、約6本

（参照：東京防災、岩谷産業ホームページ）



さらに、カセットボンベを安全に使用するためには、適切な方法で保管することが必要です。使用後は、コンロ等の使用器具から取り外し、必ず先端のキャップをした状態で、直射日光の当たらない40℃以下の湿度の少ない場所で保管しましょう。また、年に一度は、保有している全てのカセットボンベの外観や製造年月日を確認し、経年に応じて使い切りましょう。

（参照：国民生活センターホームページ）

東日本大震災からもうじき10年になります。

その頃、災害のためにカセットコンロやボンベを購入された方は、もう一度製造年月日を確認してみましょう。

（消費生活センター運営協議会）

食品による子どもの窒息・誤嚥事故に注意！

—気管支炎や肺炎を起こすおそれも？

硬い豆やナッツ類等は**5歳以下**の子どもには食べさせないで—

厚生労働省の人口動態統計の調査票情報(平成26年から令和元年までの6年間分)を基に、消費者庁で独自に分析を行ったところ、食品を誤嚥(ごえん)して窒息したことにより、14歳以下の子どもが**80名**死亡してしまいました。そのうち5歳以下は73名でした。

事件事例①：アーモンドを子どもに食べさせていた。口内に残したまま歩行中、もっと欲しがって泣いたところ、むせてせき込んだ。その後もゼイゼイした感じがかり受診した。右気管支異物により入院6日間。(2歳)

事件事例②：保育施設において、給食中に幼児がブドウをのどに詰まらせ、病院に救急搬送したが死亡が確認された。(4歳)

アドバイス

1. **豆やナッツ類**など、硬くてかみ砕く必要のある食品は**5歳以下**の子どもに**食べさせない**てください。

咽喉や気管に詰まると窒息しやすく、大変危険です。小さく砕いた場合でも、気管に入り込んでしまうと肺炎や気管支炎になるリスクがあります。

2. **ミニトマトやブドウ**等の球状の食品を丸ごと食べさせると、窒息するリスクがあります。乳幼児には4等分する、調理して柔らかくするなどして、良くかんで食べさせましょう。
3. 食べているときは、姿勢を良くし、食べることに集中させましょう。

物を口に入れたままで、**走ったり、笑ったり、泣いたり、声を出したりすると、誤って吸引し、窒息・誤嚥(ごえん)するリスク**があります。

詳しくは消費者庁ウェブサイト 生命・身体にかかわる危険

<http://www.caa.go.jp/notice/caution/life/>



成人式で啓発活動を行いました！

1月11日(祝・月)によみうりランドで行われた成人式の際に、若者向けの消費者啓発活動を行いました。消費者トラブルにあう危険度チェックができるクリアファイル、消費生活センターのパンフレット、悪質商法に対する注意喚起チラシなどを配布しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、人と人との接触を避けるために、手渡しでなく、前もって座席に配布しました。



クーリング・オフなど契約に関する相談は・・・

稲城市消費生活センター

相談電話 **042-378-3738**

月～金曜日(年末年始・祝日除く)

午前9時30分～正午、

午後1時～3時30分

